

2020年 5月 18日(月)更新

学年

1～3年

教科

美術

学習テーマ

デッサンを描こう!【四角いもの編】

○前回の鑑賞はどのくらいできましたか? 最低でも1、2ページはやっているといいですね!

今回は、**デッサンを描いてみよう!**です。

1年生も、まずは下記のポイントを参考に身近にあるシンプルな形のものを何か描いてみよう!【必要な道具】⇒2Bの鉛筆、クロッキー帳や白紙の紙、アイディア帳

★デッサンが得意な人もそうでない人も、少しずつでも上達したら嬉しいですね!

普段、私が言っている**デッサンのポイント**を改めて紹介しておきます。

形⇒ 描く対象をよく観察し、比率なども意識して、なるべくその形に忠実に描こう

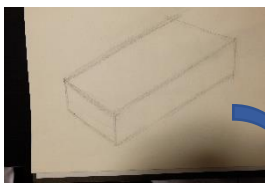
大きさ⇒ (描く対象にもよりますが)なるべく実物大、もしくはそれ以上の大きさに

影⇒ 主に、光が当たっているところと反対側につくものなので、光が当たっているところを意識し、そこから離れていくにしたがって濃くしていく。また、対象がのっている台と対象のものが接しているところが、特に濃くなるのでそこにも意識する。

◎影が立体感を表現する上で大きなポイントの1つです。

細部⇒ その対象の特徴がよく分かるところに着目して、より対象らしさが伝わるように時間をかけてたくさん描き込む。(多少黒くなってもOK。濃淡をより幅広く表現しよう。)

例として、今回 BOX ティッシュを描いてみたので参考にしてみてください。



① どこからの角度がよいか?(その特徴が表現できるか?)を考え、形をとる

◎立方体・直方体の場合、3面が見えると立体感が出しやすい



② 基本的な形がとれたら少しずつ明暗をつけていく

◎3面それぞれに濃さの差をつける



③ 明暗をつけ、ある程度立体感が出てきたら細部にも注目し、描き加えていく

◎図柄や模様などの特徴もできる範囲で描く



④ さらに繰り返し、影や細部をよく見て描き込む

◎何度も繰り返して特徴などを描き込むことで質感や存在感がより表現できる



上記のポイントを踏まえて、実際に描いてみよう!!

これらの構図はイマイチ…です



